



Broadmedia

2019年度第1四半期 決算概況

ブロードメディア株式会社

2019年7月30日

本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみに全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します。

2019年度第1四半期決算概要

トピックス

【参考資料】

- ・ 事業セグメント別の業績

第1四半期累計期間の(4月～6月)の連結経営成績



Broadmedia

(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額	通期 業績予想 (5月10日発表)	進捗率
売上高	2,764	2,803	↑ 38	12,000	23%
営業利益	△ 30	139	↑ 169	350	39%
経常利益	△ 43	183	↑ 227	360	51%
純利益	△ 89	150	↑ 239	180	83%

概 況

- 前年同期と比べて、増収増益
- 保険金の支払いを受けたこと等により経常利益は増益
- 釣りビジョン社が地方税の還付を受けたこと等もあり、純利益も増益
- 第1四半期は好調な出だしとなったが、業績予想については据え置く

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	588	760	↑ 172	△ 14	95	↑ 110
放 送	722	692	↓ △ 30	41	79	↑ 38
ス タ ジ オ	529	593	↑ 64	△ 8	△ 22	↓ △ 13
技 術	628	690	↑ 62	100	110	↑ 9
ネットワーク営業	295	65	↓ △ 229	12	△ 1	↓ △ 13
全 社 費 用				△ 161	△ 122	↑ 39
合 計	2,764	2,803	↑ 38	△ 30	139	↑ 169

✓ 「コンテンツ」の増収増益が連結業績を大きくけん引

✓ 「ネットワーク営業」は大幅減収

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	588	760	 172	△ 14	95	 110
			+29%			黒字転換

- ✓ 教育サービスは、入学生徒数が過去最高となり増収増益
- ✓ デジタルメディアサービスは、広告収入やVODサービスが好調に推移したことで売上高が増加し、黒字化
- ✓ クラウドゲーム事業は売上高が増加し、営業損失が縮小

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	588	760	 172	△ 14	95	 110
放 送	722	692	 △ 30	41	79	 38

△4%

+92%

- ✓ 売上高は、視聴料収入が減少傾向にあり減収
- ✓ 継続したコスト削減の取り組みにより、営業利益は増益

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	588	760	172	△ 14	95	110
放 送	722	692	△ 30	41	79	38
ス タ ジ オ	529	593	64	△ 8	△ 22	△ 13

+12%

△赤字拡大

- ✓ 制作事業は、受注が増加し、増収増益
- ✓ 番組販売事業は、売上の減少に加え、原価率が上昇
- ✓ 映画配給事業は、引き続き苦戦が続く
- ✓ その結果、売上高は増加したが、赤字が拡大

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	588	760	↑ 172	△ 14	95	↑ 110
放 送	722	692	↓ △ 30	41	79	↑ 38
ス タ ジ オ	529	593	↑ 64	△ 8	△ 22	↓ △ 13
技 術	628	690	↑ 62	100	110	↑ 9

+10%

+10%

✓ CDNサービスの既存顧客への新たなソリューションやサービスの提供が寄与し、増収増益

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	588	760	172	△ 14	95	110
放 送	722	692	△ 30	41	79	38
ス タ ジ オ	529	593	64	△ 8	△ 22	△ 13
技 術	628	690	62	100	110	9
ネットワーク営業	295	65	△ 229	12	△ 1	△ 13

△78%

△損失計上

- ✓ ブロードバンド回線の販売(代理店販売)の苦戦が続き、大幅減収となり損失を計上
- ✓ 直接販売の立ち上げに時間を要している

事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円)(百万円未満切捨て)

	売 上 高			営 業 利 益		
	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額
コ ン テ ン ツ	588	760	↑ 172	△ 14	95	↑ 110
放 送	722	692	↓ △ 30	41	79	↑ 38
ス タ ジ オ	529	593	↑ 64	△ 8	△ 22	↓ △ 13
技 術	628	690	↑ 62	100	110	↑ 9
ネットワーク営業	295	65	↓ △ 229	12	△ 1	↓ △ 13
全 社 費 用				△ 161	△ 122	↑ 39

- ✓ 前年同期に発生した一時的な費用(約70百万円)がなかった一方、コンプライアンス強化やセキュリティ対策等に係る費用が発生

資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	2018年度	2019年度 第1四半期	増減額	増減率
総 資 産	6,557	6,493	△ 64	△1%
負 債	3,554	3,280	△ 274	△8%
純 資 産	3,003	3,213	209	7%
自 己 資 本	2,333	2,471	137	6%
非支配株主持分	669	742	72	11%
自己資本比率	36%	38%	—	—

(百万円未満切捨て)

総 資 産

- 前払費用が増加した一方で、番組勘定やリース資産等が減少

負 債

- 預り金が増加した一方で、買掛金やリース債務が減少

純 資 産

- 純利益の計上により、純資産は増加

キャッシュフローの状況

	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期
営業キャッシュフロー	△ 308	120
投資キャッシュフロー	△ 22	△ 51
財務キャッシュフロー	△ 72	△ 75
現金及び現金同等物の増減	△ 405	△ 6
現金及び現金同等物の期末残高	1,211	1,863

(単位：百万円) (百万円未満切捨て) ※上記表中には「現金及び現金同等物に係る換算差額」は記載しておりません

営業キャッシュフロー

- 税引前利益183百万円を計上したことやたな卸資産の減少、過年度法人税の還付等により、プラス120百万円

投資キャッシュフロー

- 固定資産の取得や貸付による支出等により、マイナス51百万円

財務キャッシュフロー

- リース債務返済等により、マイナス75百万円

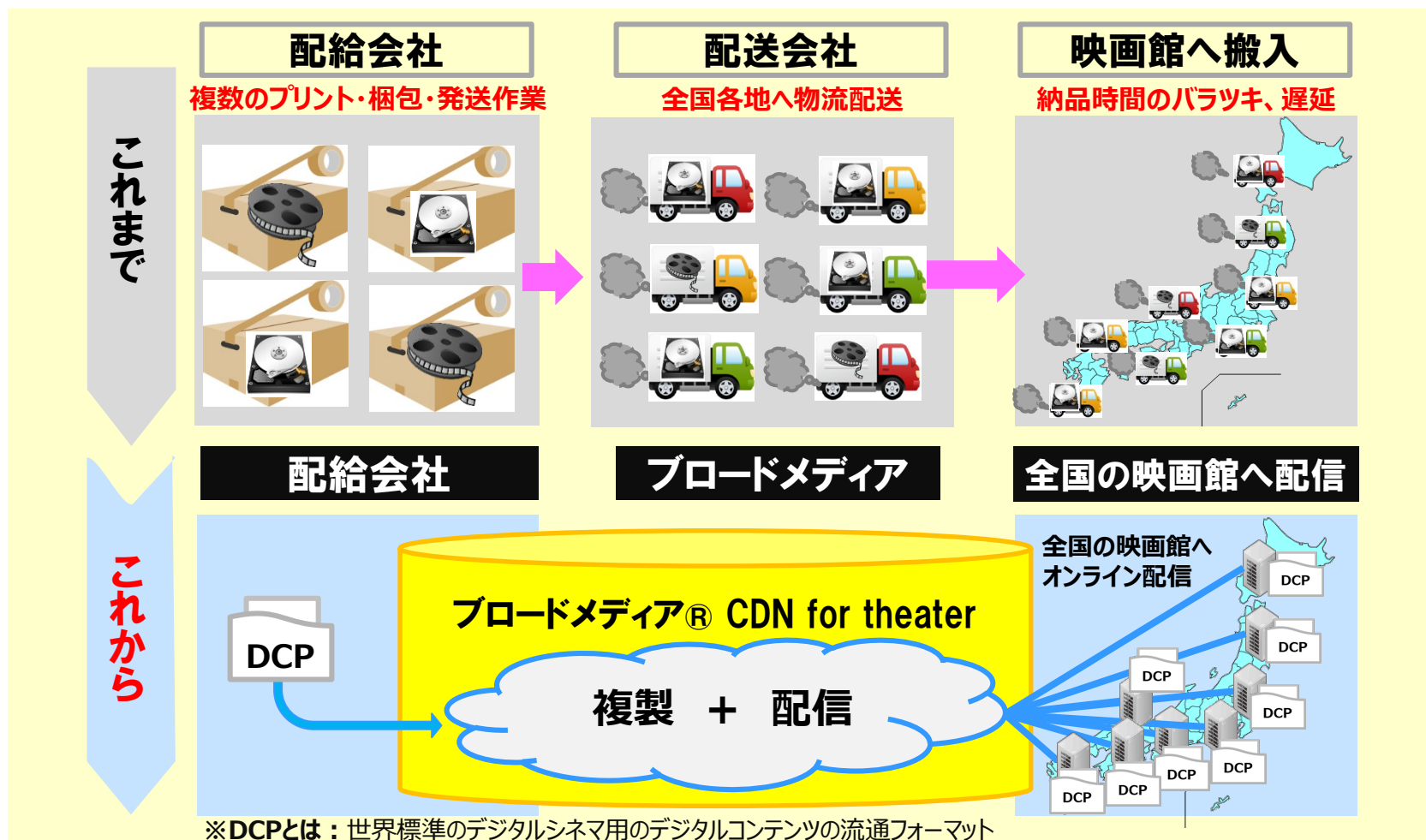
2019年度第1四半期決算概要

トピックス

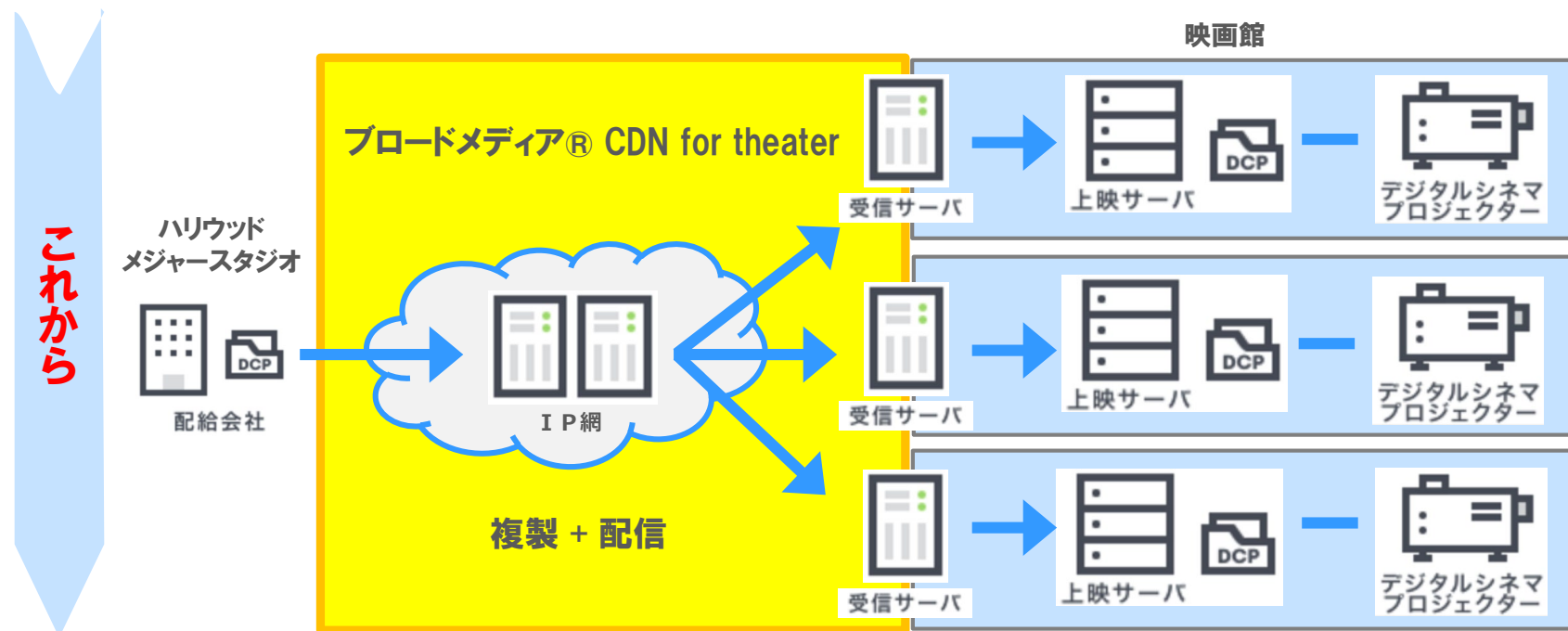
【参考資料】

- ・ 事業セグメント別の業績

■ ハリウッドメジャースタジオが映画本編のオンライン配信を開始



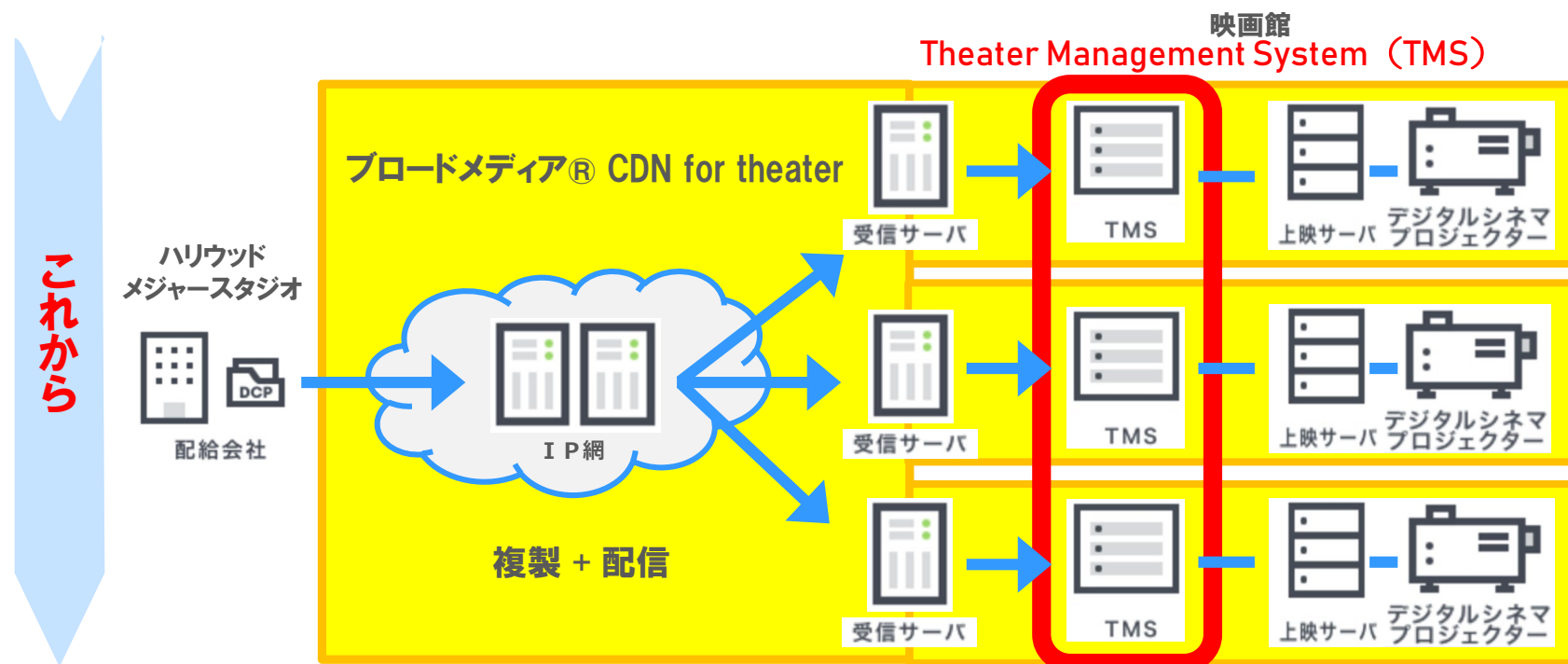
■ ハリウッドメジャースタジオが映画本編のオンライン配信を開始



※DCPとは：世界標準のデジタルシネマ用のデジタルコンテンツの流通フォーマット

⇒ 映画本編の映画館への配信を拡大
(技術サービス × スタジオ)

■ CDN+TMSによって映画業界の業務効率化に貢献



※TMSとは：映画館に設置されているデジタルシネマ設備を一元管理するソフトウェア
(コンテンツ転送、再生／停止、スケジュール登録、上映レポート作成/転送)



⇒ **映画館へのデジタル機材販売を拡大**
(技術サービス × スタジオ)

毎日を楽しく過ごしたいアクティブな女性のためのトレンド情報サイト
『クランクイン！トレンド』

行きたい & 欲しいが
きっとみつける

クランクイン!! trend

7/1
OPEN

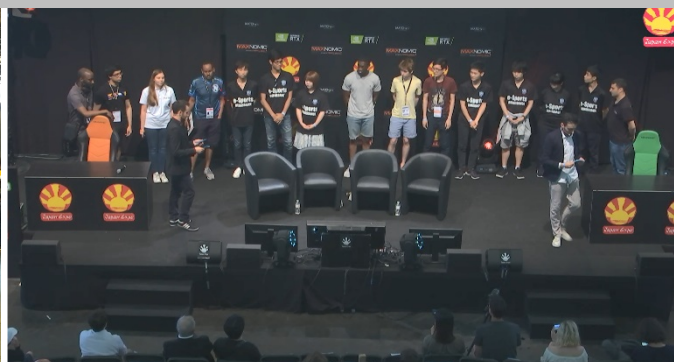


“行きたい”がみつける “欲しい”がみつける

<https://www.crank-in.net/trend/>

「第20回 Japan Expo」eスポーツ日仏国際交流企画 ～ 2019年7月4日～7月7日 フランス・パリ・ノール・ヴィルパント展示会場 ～

ルネサンス高校の生徒がフランスの学生や日仏プロゲーマーと対戦
～ステージは連日満員御礼！～



スタジオ(配給予定作品)



Broadmedia

愛し方が分からない母と、愛されたことのない娘。
手探りで紡ぎ上げる、二人の〈愛〉の形とは。

2018年度カンヌ国際映画祭
〈ある視点部門〉正式出品

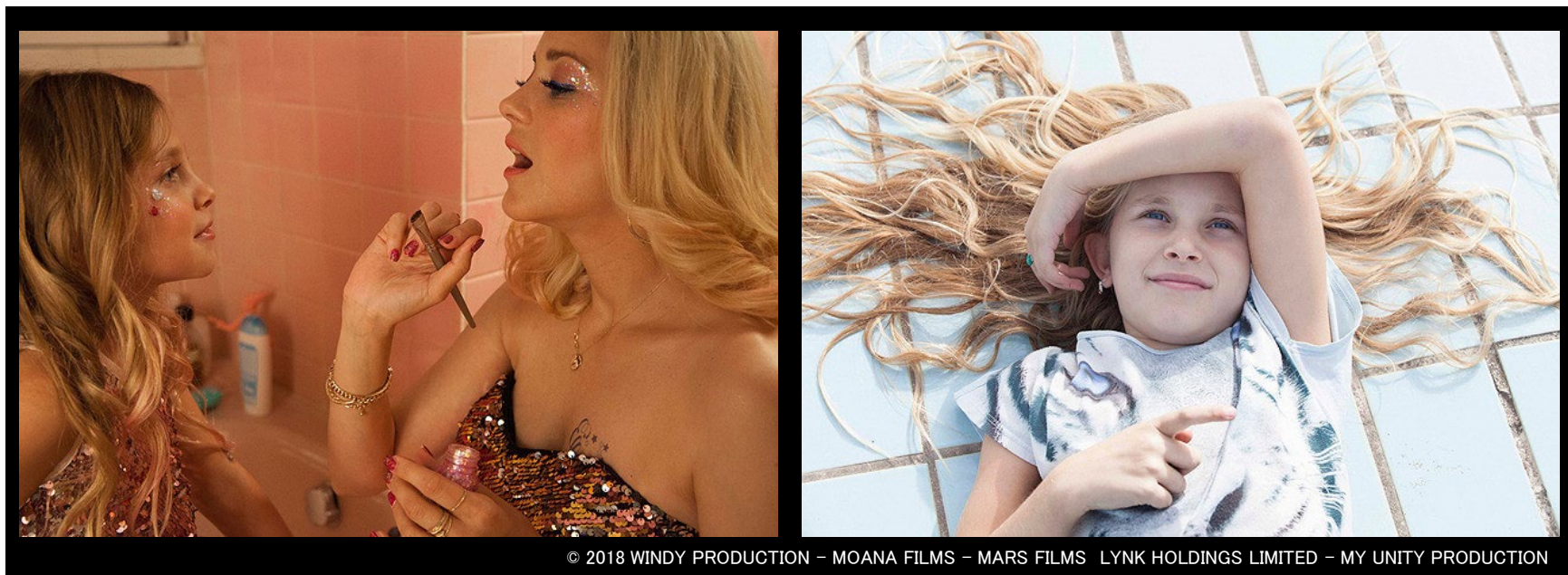
マリオン・コティヤール主演

映画『マイ・エンジェル』



SÉLECTION OFFICIELLE
UN CERTAIN REGARD
FESTIVAL DE CANNES

～ 8月10日(土) 有楽町スバル座ほか全国順次公開 ～



© 2018 WINDY PRODUCTION - MOANA FILMS - MARS FILMS LYNK HOLDINGS LIMITED - MY UNITY PRODUCTION

ご清聴ありがとうございました



Broadmedia

本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみに全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します

2019年度第1四半期決算概要

トピックス

【参考資料】

- ・ 事業セグメント別の業績

事業セグメント別の連結業績 ～コンテンツ～



	売 上 高				営 業 利 益			
	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額		2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額	
コ ン テ ン ツ	588	760	 172		△ 14	95	 110	

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- 教育サービスは、入学生徒数が過去最高となり増収増益
- デジタルメディアサービスは、広告収入やVODサービスが好調に推移したことで売上高が増加し、黒字化
- クラウドゲーム事業は売上高が増加し、営業損失が縮小

◆クラウドゲームサービス

- ・クラウドゲーム「Gクラスタ」
- ・スマホ向けクラウドゲームアプリ
- ・通信事業者向けプラットフォーム

◆デジタルメディアサービス

- ・「クランクイン！ビデオ」
- ・「クランクイン！コミック」
- ・「クランクイン！」

◆教育サービス

- ・ルネサンス高等学校
- ・ルネサンス豊田高等学校
- ・ルネサンス大阪高等学校

事業セグメント別の連結業績 ～放送～



		売 上 高		
		2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額
放	送	722	692	△ 30

		営 業 利 益		
		2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額
		41	79	38

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- 売上高は、視聴料収入が減少傾向にあり減収
- 継続したコスト削減の取り組みにより、営業利益は増益

◆釣り専門チャンネル「釣りビジョン」

- ・衛星基幹放送事業(BS放送)
- ・ケーブルテレビ局等への「釣りビジョン」の提供
- ・その他

事業セグメント別の連結業績 ～スタジオ～



	売 上 高			営 業 利 益		
	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額
ス タ ジ オ	529	593		△ 8	△ 22	

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- 制作事業は、受注が増加し、増収増益
- 番組販売事業は、売上の減少に加え、原価率が上昇
- 映画配給事業は、引き続き苦戦が続く
- その結果、売上高は増加したが、赤字が拡大

◆制作事業

- ・日本語字幕制作
- ・日本語吹替制作
- ・文字放送字幕制作
- ・番組宣伝制作

◆映画配給事業

- ・劇場映画の製作・配給
- ・DVD / Blu-rayの発売
- ・TV放映権の販売
- ・VOD権の販売

◆番組販売事業

- ・ハリウッド映画等のテレビ局への供給

事業セグメント別の連結業績 ～技術～



		売 上 高			営 業 利 益		
		2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額
技	術	628	690	↑ 62	100	110	↑ 9

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- CDNサービスの既存顧客への新たなソリューションやサービスの提供が寄与し、増収増益

◆CDNサービス

- ・ブロードメディア®CDN CMオンライン
- ・ブロードメディア・テクノロジーズ社のCDNサービス等

◆ホスピタリティ・ネットワーク

- ・ホテルの客室、会議室等へのインターネットサービスの提供

◆デジタルシネマサービス

- ・ブロードメディア®CDN for theater
- ・配信機器等の販売及びレンタル
- ・VPFサービスの提供

◆その他ソリューションサービス

- ・プライベートネットワーク「Aryaka」
- ・対話型AIプラットフォーム「Passage AI」

事業セグメント別の連結業績 ～ネットワーク営業～



	売 上 高		
	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額
ネットワーク営業	295	65	△ 229

	営 業 利 益		
	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額
	12	△ 1	△ 13

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- ブロードバンド回線の販売(代理店販売)の苦戦が続き、大幅減収となり損失を計上
- 直接販売の立ち上げに時間を要している

◆ブロードバンド回線販売

◆ISPサービス販売

◆その他

事業セグメント別の連結業績 ～全社費用～

	営 業 利 益		
	2018年度 第1四半期	2019年度 第1四半期	増減額
全 社 費 用	△ 161	△ 122	 39

(単位：百万円) (百万円未満切捨て)

- 前年同期に発生した一時的な費用(約70百万円)がなかった一方、コンプライアンス強化やセキュリティ対策等に係る費用が発生

◆グループ本社(ブロードメディア)の管理部門に係る費用・損益

創造力が生み出す優れた作品やサービスを

広く社会に普及させ

より豊かなコミュニティの形成・発展に貢献する

[*https://www.broadmedia.co.jp/*](https://www.broadmedia.co.jp/)



Broadmedia

本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみ全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します